



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ 寺井高校卒業)

拝啓 本年1月1日午後4時10分頃に「令和6年能登半島地震」が発生し、国・県・市町あげて、懸命の努力を続けていますが、復興にはまだ遠い状態が続いていた矢先、今度は9月21日(土)に、記録的な大雨が発生し、大きな被害が出ました。謹んでお悔やみ、お見舞い申し上げます。不肖、私も、少しでもお役に立ちたく、計15回、ボランティア支援へ行ってきました。 敬具

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会議員 卯野 修三

(取得資格) 平成31年2月防災士、平成30年、令和元年と能美市の手話講座受講→手話検定5級販売士2級、実用英語検定2級、POP広告クリエイター3級、消費生活アドバイザー(産能大・通教修了)のみ検定上級、ふるさと小松検定初級、金沢検定初級、白山検定初級、加賀ふるさと検定初級

<令和6年 能登半島地震ボランティア支援>



◆4月15日 第6回
志賀町高浜町



◆4月25日 第7回
穴水町甲(かぶと)地区



◆5月8日 第8回
金沢いしかわ総合スポーツセンター



◆5月31日 第9回
能登町松波・白丸地区



◆6月9日 第10回
輪島市河井町・小伊勢町



◆6月30日 第11回
珠洲市上戸町・三崎町
能美市防災士協議会主催



◆7月24日 第12回
珠洲市宝立町



◆9月4日 第13回
輪島市門前町
栃木ライスセンター



◆9月11日 第14回
珠洲市三崎町
ライスセンター



◆9月27日 第15回
穴水町旭ヶ丘
ライスセンター



◆8月18日
宮元陸加賀市長と(金沢市)
法政大学の先輩です



◆6月9日
輪島でのボランティアで
馳知事と



◆9月29日(挨拶は手話で実施)
寺井町自主防災訓練
(寺井町多目的ホール駐車場)

令和6年6月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 6月14日

質問

◆防災対策について◆

①令和6年能登半島地震発生をうけて、今後、より効果の上がる自主防災訓練をすべきと考えるが市の見解は。

答え

井出敏朗 市長 災害時の住民の安否確認を円滑に進めるためのマニュアルを整備し、全町会・町内会のルール作りに活かしてもらおう。実情に合った「共助」の仕組みづくりを進め、好事例を防災ガイドブックで紹介していく。

卯野は思った

従来の班ごとに集まり、避難場所へ移動して解散の形式でなく、安否確認の訓練をすべき。

質問

②市内の指定避難所の鍵の管理について。

答え

総務部 橋場部長 周辺に住む複数職員を開錠担当に選任した。また、スマートロックシステムの導入を進める。

卯野は思った

1月1日は鍵を開ける人がおらず、ガラスを割って入室したという話も聞いた。入念なる準備を。

質問

③指定避難所と町会・町内会の公民館のトイレの洋式化は進んでいるか。

答え

総務部 橋場部長 25施設のトイレ設置数は613で、洋式化率は71.6%。町会・町内会の洋式化率は90%。

質問

④災害時に備えてトイレカー(トイレ・トレーラー)を導入すべきと考えるが見解は。

答え

総務部 橋場部長 現時点では市への導入は維持管理費が高額などの課題があり、仮設トイレと簡易トイレによる対応を考えている。

卯野は思った

能登へボランティアへ行った際、全国の自治体からトイレカーが応援に来ていて被災者はすごく喜んでいたので再検討を。

質問

⑤防災行政無線放送を自宅以外での設置できることの広報活動が不足では。

答え

総務部 橋場部長 自宅と離れたお店・工場などへの情報伝達は重要で、今後広く案内していく。

(裏面もご覧下さいませ)



質問

◆液化化被害の被災宅地への復旧支援について◆

3月に国が支援を表明、6月に県が補正予算で支援を強化すること。能美市として、どのような支援策を。

答え

土木部 中谷部長 県が6月定例会で補正予算を上程したことを受け、今定例会中に追加補正予算の上程を検討している。

卯野は思った

6月議会の最終日に追加議案が出て、被災宅地の復旧工事への支援が決まった。

質問

◆不妊治療費の補助について◆

不妊治療費の自己負担額を全額補助の実施を。

答え

健康福祉部 川本部長 本市では、一般不妊治療費は年間7万円を上限に自己負担額の2分の1助成を。また先進医療を含めた生殖補助医療は100万円を上限に自己負担の3分の2を助成している。

卯野は思った

子育てにやさしい町に取り組むかほく市は全額補助をしているので、ぜひ再検討を。

6月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



1400年の歴史がある辰口温泉「盤石の岩打ちくさき、開発し、火釜も添える辰ノ口の湯」。米丸町の源助が400年ぶりに掘りあてた。まさに雨垂れ石をうがつ、今日も粘って質問し続けます。

令和6年9月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 9月13日

質問

◆受験生の減少が続く寺井高校について◆

①寺井高校の良いところは何か。

答え

木下浩明 教育長 総合学科の特色を活かした福祉・商業・陶芸・デザインの勉強もでき、また進学希望者にはチューター制という個別指導をしている。本年8月6日、中三対象の体験入学は120名に増え、10月にも第2弾があるので期待している。

卯野は思った

寺井高校本体、そして同窓会も一緒になってもっともっとPRすべきと感じた。

質問

②活性化の1つとして県内に2つ(錦丘・門前)ある、中高一貫校への転向についての見解は。

答え

木下浩明 教育長 能美市として市内3つの中学校と寺井高校をつなぐ方法を考えていきたい。

卯野は思った

今後も様々な可能性を提案していきたい。中高一貫の時代は必ずやってくると思う。



質問

③寺井高校が能美市に必要なならば、復活プロジェクトを立ち上げるべきと考えるが見解は。

答え

井出敏朗 市長 受験生増への一助として、9月から運用を開始した学校給食センターで調理した給食を寺井高生に提供できないか、県教育委員会と協議を進める。

卯野は思った

思いもかけない答弁をいただいた。生徒よし、高校よし、地域よしと三方よしとなるよう検討していただきたい。

質問

◆市営住宅の目的外使用について◆

市内で働く外国人技能実習生のシェアハウスとして市営住宅を活用することができないか。

答え

土木部 中谷部長 シェアハウスとして活用することは、実習生、企業、市にとって多くの利点がある。既存の入居者や地元町会の理解を得て調整を進めていきたい。

卯野は思った

令和5年12月末現在、能美市には外国人が1,418人(ベトナム548人、中国408人、インドネシア66人など)住んでいます。ぜひ対応を!

質問

◆AED(自動体外式除細動器)更新について◆

AED新規更新の際は、市の自主防災組織補助金が利用できるが、電極パッドやバッテリーなどの消耗品の更新にも補助金が必要と考えるが見解は。

答え

総務部 橋場部長 生命を守る電極パッド・バッテリーの更新は大切なことなので補助金の検討をしていきたい。

卯野は思った

ぜひ町会・町内会のAEDの設置の現状を調べ対応していただきたい。



質問

◆能美市誕生20周年記念事業について◆

①市民憲章、市の花、市の木、市の鳥を制定して、市の一体感、郷土愛を醸成せよ。

答え

総務部 橋場部長 市公認キャラクター(ひぼのん、ゆずみん、ぼぼのん)や、SONG of NOMI、キャッチコピーのPRにつとめ、市民の一体感の醸成を図る。

卯野は思った

能美市のPRのためには、市だけで考えず、広く市民に聴く機会を作ってほしい。

質問

②能美市の知名度アップのために、NHKの人気番組「のど自慢」「鶴瓶の家族に乾杯」を活用して市民の郷土愛、誇り(シビックプライド)を高めよ。

答え

教育委員会 森管理局長 人気テレビ番組の誘致ができるよう、各テレビ局に働きかけたい。

卯野は思った

幅広い年代に人気のあるNHKの番組は、デジタルの時代であっても必要で、市民はワクワクしますので、ぜひ取り組んでほしい。

9月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



井出市長の座右の銘は、米沢藩の上杉鷹山公の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」と承知しています。私もアメリカ16代大統領・リンカーンの「意志のあるところ、道は開ける」の言葉のごとく、本日の質問にのぞみます。

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812



メルアド uno0905@tvk.ne.jp

うの修三

検索



卯野修三